

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	子どもが主役の地域を創る キッズレボリューション		
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	関西国際大学	
	活動 グループ名	キッズレボリューション	参加学生 等人数 31人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	教育学部教育福祉学科	
	責任者氏名	大平 誠也	連絡先 電話番号
	E-mail		
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	アサヒ飲料クラブチャレンジャーズ	
	代表者氏名	プロジェクトマネージャー 川口 陽生	連絡先 電話番号
	E-mail		
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	NPO 法人ASK	
	代表者氏名	吉金 潤一郎	連絡先 電話番号
	E-mail		
教育・研究活動 目標	<p>近年、「子供の体力・運動能力低下」が問題として取り上げられることが増えています。近年の子どもたちは、テレビを見たりゲームをしたりと室内で過ごす時間が増え、外遊びの時間が減少しています。また、都市化にともない身体を動かして遊べる場所が減っていること、少子化が進んで身近で一緒に外遊びできる仲間を見つけるのが難しくなったことも要因です。</p> <p>教育学部に籍を置く学生達で構成された本団体では、子ども達の体力づくり、運動能力の向上のためにどのようにアプローチすれば、楽しく遊びながら取り組むことができるかを検討します。また、遊びやスポーツで培うことのできるコミュニケーション能力や向上心、あきらめない心など、心の育成についても声掛けなどをおして学んでいきます。さらに、今年度は、「スポーツを通じた街づくり」を実践しているアサヒ飲料クラブチャレンジャーズなど地域イベントを実施している団体と連携し、子ども達が安心して遊べる地域を作る、大人も子どもと一緒にスポーツをとおして交流できる健康で明るい街づくりを目指します。</p>		
活動内容及び 実績、評価	<p>(活動内容・実績)</p> <p>今年度は尼崎市小田地区で実施されている「おだらぶ土曜雑談会」という地域活性化を目的とした意見交換会を通じて、地域で行われるイベント運営に積極的に関わった。「おだらぶ土曜雑談会」は小田地域課が主催する地域団体や企業の方など有志で構成された意見交換会で、月に1度開催されている。</p> <p>アサヒ飲料クラブチャレンジャーズもおだらぶ雑談会に参加されており、その中で交流、合同イベントなどの検討を行ったが、スケジュール調整ができず、イベント実施にまでは至らなかった。</p> <p>しかし、「おだらぶ土曜雑談会」に積極的に参加することで、地域の子ども会や NPO 法人、高校などと連携し、子ども向けイベントの企画・運営を行うことができた。</p> <p>以下は参加イベント。</p> <p>4/9 あまおだ春まつり(小田南生涯学習プラザ)ポッチャ・紙飛行機(対象外)</p> <p>5/1 小田南生涯学習プラザ 2 周年イベント(小田南生涯学習プラザ)ポッチャ・折り紙(対象外)</p>		

6/26 ASK ボードゲーム会 KidsRevolution コラボイベント(小田南生涯学習プラザ)スケートボード・ボードゲーム  
8/15 通常イベント(小田南生涯学習プラザ)フォトフレーム作り・腕時計作り  
8/27 あまおだ子ども祭り(小田南生涯学習プラザ)紙コップロケット作り・牛乳パックヨーヨー作り  
10/30 ハロウィンイベント(旧小田地区会館)お化け屋敷  
12/17 あまおだ冬祭り(小田南生涯学習プラザ)サンタさんの福笑い  
2/3 尼崎近郊での活動報告会 および 尼崎市長期実践型インターンシップ報告会における活動のポスター発表  
3/25 あまおだ土曜雑談会での活動ふりかえり

(評価)

・コロナ禍の影響を受けた学生が多く、新たに参加するサークル部員の募集に苦労したが、幹部学生が「おだらぶ座談会」に参加し、多様な方々に助言をいただいたことで新たな展開(少人数実施、他のサークルとの連合、連携)を見出すことができた。いくつかのアイデアの実現に向けて企画をしたにとどまった。実現に向けての行動変容が課題である。

・学生等が関わった地域、団体の活動の変化等

JR 尼崎近辺の地域(振興センターも含む)や学校においては、一定の認知を得ることができた。

・学生等の学習意欲、地域に対する考え方の変化等

学生は入れ替わるので学習意欲や地域に対する考え方を深める部分については課題が残るが、学内学生への地域理解(学友の地域への貢献度等)については一定の効果が見られた。

「おだらぶ雑談会」に参加された地域の方々や市民活動団体の方々からは、雑談会から派生したイベントが実施できたのは、学生や高校生が中心になってくれたからだ。学生がイベントに参加して子どもたちと遊んでくれることだけを期待していたが、イベント運営も熱心に行ってくれ、地域課題にも真摯に耳を傾け、関わってくれることがわかった。学生に協力してほしい題材を具体的に示し、褒めたり感謝したりする声掛けを行うことが大人の役割でもあるというお話がありました。

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。